

ワクワク通信

お客様とIBASEKIを結ぶホットライン

私たちは エネルギーと生活関連事業を通じて
地域の顧客満足No.1企業を目指しています

2011年 8月号
いばせき広報室
 茨石商事株式会社
 〒315-0013
 茨城県石岡市府中 2-3-19
 TEL 0299-24-2680
 FAX 0299-23-8056
 ホームページ <http://www.ibaseki.com>
 E-mail ibaseki@arion.ocn.ne.jp

社長エッセイ

一条のひかり

今月はどうしてもこの話題に触れておかななくてはならないでしょう。我々に久々の感動を与えてくれた女子サッカーワールドカップでの「なでしこジャパン」の優勝。震災後のうつむき気味だった日本に久しぶりの明るい話題を提供してくれました。

眠さと感動と称賛の渦の中、ふと冷静に考えますと、勝因には緻密に練られた戦略も見えて来る様な気がします。これまで20戦以上戦って1度も勝ったことのないアメリカが相手。常識から考えると勝率はかなり低いはず。しかし、小が大に勝つには「どうなるか分からないところに持ち込む……」という戦法が有ることで、まさに敵味方が入り乱れて分からなくなる場所に戦い(ボールを上げる)を持ち込む方法たそうです。

(例・織田信長の桶狭間の戦いやベトナム戦争)
 ビジネスでもスポーツでも実力差があれば力にモノを言わせて圧倒したり、綺麗にシユートを決めたり……と、危なっかしい事は一切せず……にスマートに勝ちを取れますが、当然小はそれでは勝てません。前出のようなギリギリの戦い方で延長に追いつき、PK戦に持ち込む



だ時点で勝ちが見えたような気がしました。力で勝る常勝軍団のペースを乱し、綺麗な圧倒的な勝ち方をさせなかつた粘りとモチベーション、それと努力が呼び寄せた運、これが奇跡的な結果に結びついたのではないのでしょうか。そして、今まで十分なサッカー環境とは言えない中、アルバイト等で生

計を立てながら頑張ってきた姿もいつしか現代日本では忘れ去られた一面です。我々も日常大いに役立たせて頂かなくては彼女たちに申し訳なく思います。人によっていろいろ感じる所は違うにしても、教えられる事が多かつた「なでしこジャパン」、久しぶりに感激の涙を流させて頂きました。

ワクワクふるさと紀行

総社宮の御神木と石碑

常陸国総社宮の拝殿前に、一本の榎の木があります。



その榎は総社宮の御神木で、宮下からの古い参道の上がり口に位置しています。石段は男坂と呼ばれ、急勾配の傾斜地を一気に上っています。

御神木の根元は石柱の柵に囲まれ、そこに寄り添うように小さな石碑が建っていました。石碑の正面には「扶持是神力」と刻まれています。助けは神様の力による、といった意味でしょうか。

裏には大正五年一月とあります。御神木には、昭和39年8月の拝殿の火災で焼かれた痕が黒々と残っていました。

石碑の言葉どおり、御神木が今日まで生きているのは神力のお陰なのでしょう。

よく見ると石碑には「手塚正太郎謹書」とあります。これを書いたのは、石岡の郷土史研究の父と呼ばれた人物でした。安政2年に府中藩士の長男として生まれた正太郎は、石岡小学校の2代目校長を務め、その後町の助役となりました。

仕事の傍ら郷土史の研究に励み、石岡の歴史解明の基礎をつくったのでした。往事の正太郎を孫の手塚邦彦氏が語っている記録があります。「祖父は厳格でしたが、孫の私には優しくなつたようです。日曜日ごとに山野を歩き、遺跡巡りに連れて行ってもらいました。ハカマ姿に草鞋を履いて、革のカバンを手に、もちろん山高帽もかぶりました。

尼寺ヶ原に行つて草を刈り、掃除をさせられたり、礎石を盗まれないよう監視に行かされたりもしました。当時は史跡の価値が今のようには認められてなくて、石を庭石や記念碑の台にするといったケースが後を絶たなかつたのです。

市内にある多くの史跡がいま残されているのは、「こうした先人の思いがあったからともいえます。境内にひっそりとたたずむ小さな石碑、そこには郷土を思う心がしっかりと刻まれていました。

一般停電用ガス発電機 県内第1、2号機を設置！

残暑お見舞い申し上げます。

連日の猛暑の中、福島原発事故の影響により電気節約15%を余儀なくされ、夜も寝苦しい毎日を過ごされていることと推察しております。

我々は東日本大震災で断水そして停電を経験し、今なお電気の節約ムードが高まり、輪番停電が実施されるなど、いつどのような停電が起きても不思議ではない状況下にあります。

電力供給の復旧が遅れた東北の被災地では、停電中に「発電機」が大いに活躍したというニュースを耳にしました。一般的には、ガソリン、軽油、灯油などを燃料とした大型機が主流です。震災直後には燃料の入手が困難となりその間は稼働できない日が続いたそうですが、そんな状況にも左右されずひときわ目立っていたのが、LPG（プロパンガス）を燃料としたタイプだったようです。ガス供給は常に安定しており、途絶える心配はありません。それが一番のおすすめてころでしょうか。

今回、寿星会石岡診療所に設置させて頂いた2台のLPG発電機は、茨城県で記念すべき第1号です。全国ではすでに42台が設置されており、このたび43号、44号目をレコードしました。



通常の発電機は、手でスイッチを入れることによって発電を始めます。ところがこのLPG発電機は停電と同時にエンジンが自動運転し、40秒後には発電を開始します。またその逆に、電力復旧後は自動的に発電を停止する仕組みです。LPGガスは、他の燃料を寄せ付けないほどクリーンなエネルギーなので、エンジンオイルの交換は半年に1度と手間いらず。またメンテナンスも充実しています。

今後の停電対策として、病院やコンビニエンスストア、公民館などで設置が進みそうです。

お問合せは、茨石商事・大久保までご連絡ください。お待ちしております。

0120 41 2680

「いばせきフェスタ」 開催のお知らせ

【日時】 9月25日（日）

午前11時～午後4時

【場所】 グリーンパレス石岡
(茨城3 16 20)

茨石商事株式会社と茨石ガス株式会社が共同で開催する「いばせきフェスタ」は、石岡市を中心に、より多くの方々にご来場いただき、当社がどのような企業なのか、また、どのような活動をしているのかをご覧頂きたいと思っております。

さらに、当スタッフの震災復興に対する熱い思いが届きましたら、チャリティーにもご協力をいただければ幸いです。収益金は、東日本大震災の復興義援金とさせていただきます。

チャリティーコーナーのほかに、EC 家電や、安心リフォーム、災害対策実演なども用意しております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

チャリティコンサート

石岡市ばらき台出身スウィートジャズボーカリストの伊東真紀さんが、応援にかけつけ石岡地域に元気をくれます！

第1回公演 11:30～12:00

第2回公演 15:00～15:30

チャリティたこ焼き&焼きそば「カリッふわっで美味しい」と大評判のたこ焼きです。

焼きそばも焼きたてをどうぞお召し上がり下さい。

チャリティバザー 13:00～14:30

【バザー】 出展品を募集します！ 皆様のご家庭で不要な品がございましたら、チャリティバザーへの出展ご協力をお願いします。出展品は、9月13日までにいばせきビル1Fへ直接お届け下さい。

誠に恐れ入りますが、衣料品・雑貨類は未使用の物に限らせて頂きます。尚、野菜等生鮮品はご遠慮願います。

0120 41 2680

気になるお店

季節料理「ひいらぎ」



昭和40年代後半から営業を始め、創業して約40年。

守横町の十字路に近いところにあり、石岡市の古き良き時代の面影を伝えるお店です。

料理は季節感あふれる刺身の盛り合わせや焼き物などが人気です。

これからの季節、御主人お勤めなのがマツタケ料理です。マツタケの土瓶蒸しは、マツタケの香りにつけて秋の風情が早くも



届けられます。

マツタケの風味を直に味わいたい方は、マツタケが最高です。

扱っているお酒は地酒「白鹿」、酒どころ石岡を代表する日本酒です。最近の人気銘柄は渡舟の焼酎で、純米焼酎のあっさりした口あたりが、季節料理を引き立てます。

カウンターに座ると、御主人の料理づくりを目の当たりにしながら、気さくな雰囲気でお酒を楽しめます。2階は二間の座敷で、落ち着いた雰囲気の中で食事や宴会が楽しめます。

しゃれた季節料理を、気楽にゆったりと味わえるお店、それが「ひいらぎ」です。

季節料理ひいらぎ

石岡市国府3 4 8

電話23 5018

営業 午後6時から

定休日：毎週日曜日